

すくすくみどり

No.10 室内で花を楽しむ12か月





ファレノプシス
Soft Line Spring SAPPORO '95

はじめに

花や緑は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。特に、冬の長い北国では花や緑が貴重で、鮮やかな花や緑が室内にあるだけでホッとしたり、やさしい気持ちになったり、あるいは部屋全体が華やかで豪華な雰囲気になったりするなど、様々な効果とはたらきを私たちに与えてくれます。

また、一般の書店でも数多くの園芸解説書が販売されています。しかし、私たちが住む街札幌は気候条件が本州と大きく異なるため、書店で売られている本州中心、東京中心の園芸解説書では当てはまらないことや説明できないことも数多くあるようです。

家のつくり、ベランダや窓辺の向き、暖房器の種類と位置のほか、四季だけをとても長く寒い冬、遅い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しい夏、短い秋など、園芸にとって不利とも有利ともいえる独特の条件が、北の街札幌における園芸の重要なポイントになります。

この小冊子は、この独特の条件下で育てる代表的な鉢花、洋ラン、サボテンほか多肉植物の生育管理のポイントを月毎にまとめて取り上げ、これから室内園芸を楽しまれる方々に平易な手引書として活用していただくことを願って作成しました。

園芸を楽しまれる方がこの小冊子を有効に活用していただき、花と緑にふれあう環境づくりの第一歩としていただければ幸いです。

なお、この小冊子の作成に当たりましては、皆様からいただいた募金（札幌市都市緑化基金）の果実（利子）の一部を使わせていただきました。

紙面で失礼ではありますが、ご協力いただいた皆様への感謝とともに、さらなる札幌市都市緑化基金積立へのご協力をお願い申し上げます。

この小冊子の内容をもっと詳しくお知りになりたい方、または他の植物についてお知りになりたい方は、巻末の「緑の相談」をご利用ください。専門の相談員があなたのご質問にお答えします。

目次

第31回緑の絵コンクール

大賞作品.....P 2

第9回緑と花のフォトコンテスト

グランプリ作品.....P 3

4月の園芸作業.....P 4~ 5

5月の園芸作業.....P 6~ 7

6月の園芸作業.....P 8~ 9

7月の園芸作業.....P10~11

8月の園芸作業.....P12~13

9月の園芸作業.....P14~15

10月の園芸作業.....P16~17

11月の園芸作業.....P18~19

12月の園芸作業.....P20~21

1月の園芸作業.....P22~23

2月の園芸作業.....P24~25

3月の園芸作業.....P26~27

緑の相談.....P28~29

札幌市都市緑化基金.....P30~32

この小冊子の使い方

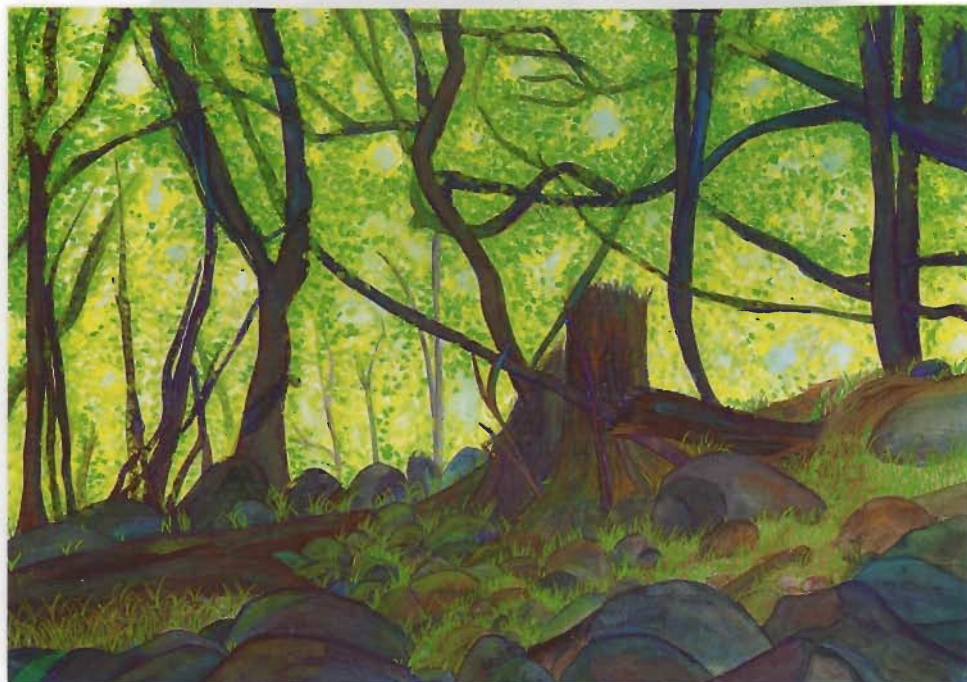
4月



作業の内容に適する時期を表しています。
(この場合は4月の上旬から下旬が「植え替え」の適期であることを示しています。)

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈鉢花〉
	植え替え アザレアなどのツツジ科植物は根が根腐れを多く求め、根がまろしやすいため水けと通気性のよい排水性の用土（例：鹿沼土・アピート・軽石）で毎年植え替え、整姿・剪定します。その後、7~10日養生して5月上旬に戸外に出します。また、ハナウメ、ハナモミなども早めに行います。ブクシアは場所取りが旺盛なため、下旬から5月上旬にかけて根

植物の生育サイクルは天候や管理の状態などによって多少前後することがありますので、あくまでもひとつの目安としてご利用願います。そのうえで管理を工夫してみてください。



第31回(平成9年度) 緑の絵コンクール
大賞作品

横濱 裕可さん (札幌市立西野中学校 2年生)

緑の絵コンクールは、毎年、札幌市内の小中学生を対象として札幌市環境局緑化推進部と財団法人札幌市公園緑化協会の共催で実施しています。

平成9年度は、小学校から25校1,409点、中学校から10校422点、計35校1,831点の応募がありました。



第9回(平成9年度) 緑と花のフォトコンテスト
グランプリ作品

「百合が原の春」(撮影場所：百合が原公園)

広川 勝吉さん (札幌市東区在住)

第9回緑と花のフォトコンテストには、四ツ切部門に32名83点、サービスサイズ部門に32名117点、計64名200点の力作が寄せられました。

第10回緑と花のフォトコンテストは、札幌市内の公園や緑地での花や緑、自然とのふれあいなどをテーマとして皆様からのステキな作品、ほのほのとした楽しい作品を募集しています。(〆切 平成10年8月末日)



ベルフラワー

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈鉢花〉 植え替え アザレアなどのツツジ科植物は根が酸素を多く要求し、根づまりしやすいため水はけと通気性のよい弱酸性の用土(例: 鹿沼土7+ピートモス3)で毎年植え替え、整姿・剪定します。その後、7~10日養生して5月上旬に戸外に出します。また、ハナウメ、ハナモモなども早めに行います。 フクシアは根張りが旺盛なので、下旬から5月上旬にかけて根鉢を1/2ほど崩して植え替えます。 ただし、一般に、植え替え、株分けは行いますが、鉢花を戸外に出すのはまだ早すぎます。 剪定 木立ベゴニア、クリスマスベゴニア(冬咲きベゴニア)などのほか、冬期に室内で花を楽しんだ花木類などは花後に剪定します。 露地植え プリムラ・ポリアンサ、プリムラ・ジュリアンなどは露地に植えてもかまいません。 施肥 液肥を主体として与えます。
	 ラナンキュラス
	 アマリリス
	 カロライナジャスミン
	 ガーベラ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈洋ラン〉 一般に、この時期の洋ランは室内のよく日の当たる場所に置きます。シンビジウム、デンドロビウム、カトレアは室内の明るい窓辺に置き、パフィオペディルム、ファレノプシス(コチョウラン)はレースのカーテン越しくらいの日が当たる窓辺に置いて風通しをよくします。 植え替え・鉢替え デンドロビウム、カトレアは新芽の発生後2cm以内で植え替えます。 遅咲きのシンビジウムは鉢替えします。花の終わったパフィオペディルムなどは急いで植え替えましょう。 施肥 成長を始めた株には説明書に書いてある濃度よりも薄めの液肥を灌水代りに与えます。
	〈サボテン・多肉植物〉 植え替え 花の終わった鉢は2年に1度は植え替えましょう。 クジャクサボテン、シャコバサボテン(クリスマスカクタス)の用土は腐葉土などの有機物を多くし(例: 培養土7+腐葉土3)、一般サボテン用土を使用してはいけません。 シャコバサボテン類は親株の茎節を2~3節残して、伸び過ぎた茎節を摘み取って全体の形を整えます。摘み取った葉は、葉挿しで増やすことができます。 施肥 液肥を主体として与えます。



ガザニア

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈鉢花〉 戸外管理 一般に、ライラックの花が咲く下旬ころからは多くの種類の鉢花を戸外に出してよく日に当てますが、葉焼けに注意して、徐々に日光に慣らすようにしましょう。  ハナタバコ 植え替え アザレアなどのツツジ科植物は上旬までには植え替えを終えます。 ニューギニア・インパチェンス、ゼラニウム、フユサンゴ（ヒメダイダイ）、クンシラン（株分けも含む）などのほか、中旬以降からはベゴニア類、ストレリチア（ゴクラクチョウカ）などが適期となります。 剪定 ハイビスカス、ブーゲンビリアなどは花後に剪定します。 施肥 液肥を主体として十分に与えます。 戸外に出したのものには置肥と液肥を併用して与えます。 〈洋ラン〉 各種類とも成長期に入った時期なので、明るさを好むものは窓辺でよく日光に当てるようにしますが、戸外に出すにはまだ早いので注意しましょう。ただし、シンビジウムについては日中の温度が15℃くらいあれば戸外に出し、夜は入室します。戸外に出した鉢は直接地面には置かず、また風で倒れないように注意しましょう。  ミルトニア

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈洋ラン〉 植え替え デンドロビウム、カトレアは新芽の発生後2cm以内で植え替えますが、できるだけ上旬までを目安としましょう。 ファレノプシスは、花後に緑色の新しい根が出てきたころが適期です。 施肥 成長の目立つ株には十分に与えます。 シンビジウムは置肥と液肥を併用して与えます。  ディサ ユニフローラ 〈サボテン・多肉植物〉 戸外に出すにはまだ早いので注意しましょう。 植え替え 一般サボテンについては花前・花後に植え替えます。 クジャクサボテン、イースターカクタス類は花後に植え替えます。 施肥 徐々に回数を増やして、肥培につとめます。  アデニウム  クジャクサボテン



ミニバラ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	＜鉢花＞ セントポーリア、グロキシニア、ストレプトカーパスなどは室内で管理します。セントポーリアは年中室内で育てます。上手に育てるとほぼ一年中花を咲かせるので室内栽培に最適の花でしょう。  セントポーリア 露地植え 花の終わったプリムラ・オプコンカは庭に植え込み9月上旬まで育てます。 植え替え・剪定 ハイビスカス、ハイドランジア（西洋アジサイ）などは花後ただちに植え替え、剪定します。ポインセチアは上旬に切り戻しをして植え替えます。 挿し木 アザレアなどのツツジ科植物、ハイビスカス、ブーゲンビレア、ハイドランジアなどの挿し木を行います。   ゼラニウム ハイドランジア

●葉焼けに注意!!...●

長い間、室内に置かれていた株を急に屋外の強い光に当てると、紫外線で葉焼けをおこしてしまいます。これを防ぐには、朝の1～2時間ほど戸外に出して入室するのを4～5日繰り返したり、適度に遮光するなど徐々に日光に慣らした後で直射日光に当てる工夫が必要です。

特にクンシランは紫外線に対して弱いので、戸外に出しても日陰の涼しい所か、よしずなど日覆をした所に置き、強い日光には当てません。

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	＜洋ラン＞ 施肥 ファレノプシス、カトレア、デンドロビウムは液肥を主体として与えます。シンビジウムは置肥と液肥を併用して十分に与えます。 戸外管理 シンビジウムは一日の平均気温が15℃以上くらいに安定してくる中旬ごろに戸外へ出します。 シンビジウム、デンドロビウム・ノビル系は日当たりの良い所で管理します。 カトレア、オンシジウム、オドントグロッサム、パフィオペディルムなどは遮光した棚や風通しのよい木陰に吊すなどするとよいでしょう。 ただし、ファレノプシス、デンドロビウム・ファレノプシス系（デンファレ）は室内で管理した方がよいでしょう。  マヌデバリア ＜サボテン・多肉植物＞ 植え替え・挿し木 クジャクサボテンほか各種のサボテン類、多肉植物などが適期です。 施肥 5月同様、株の肥培につとめます。特に、シャコバサボテン、クジャクサボテンなどの着生サボテン類は戸外に出して、置肥と液肥を併用して与えます。  ロケア



木立ペゴニア

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈鉢花〉 アマリリス、ブーゲンビレア、ハイビスカス、クレロデンドロン（ゲンベिकासラ）などはよく日に当てましょう。 灌水 アザレア、ツバキ、ポインセチア、ハイビスカスなどには十分に与えます。 施肥 蕾の形成期に近いアザレア、ツバキ、サザンカなど、肥培は今月で打ち切る種類も含めて、それぞれにチッソ分が少なく、リン酸カリ分の多い肥料を十分に与えます。 植え替え ハイビスカス、ランタナなどを植え替えます。 挿し木（芽） ニューギニア・インパチェンス、ハイビスカス、ランタナ、ペゴニア類など、またサツキ、アザレアなどのツツジ科植物の新芽挿しのほか、多くの種類は挿し木（芽）で増やせます。 病害虫防除 ハダニ類、コナジラミほか各種病害虫の発生に注意します。



ペラルゴニウム



グロキシニア



ニューギニア・インパチェンス



アルストロメリア



ランタナ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈洋ラン〉 シンビジウムとデンドロビウム・ノビル系は引き続き日当たりのよい所で管理します。 カトレア、オンシジウム、オドントグロッサムなどは50%程度遮光するとよいでしょう。 ファレノプシスはやさしい風が当たる明るい所に置きます。 灌水・施肥 各種類とも成長期なので、水と肥料は切らさないように注意します。 日中の気温が25℃以上になる日は、朝晩2回水やりします。 〈サボテン・多肉植物〉 灌水・施肥 一般に最も成長が盛んな時期なので、水と液肥はたっぷり与えます。 シャコバサボテンの施肥は今月で打ち切ります。 挿し木 アロエ、クジャクサボテン、ハナキリンなどは挿し木で増やせます。

●夏の水やりに注意!!●

多くは成長期で水を最も必要とする時期です。午前中の早いうちにたっぷりと与えますが、日中の水やりは避けましょう。

鉢花は高温時に根腐れをおこしやすく、特に乾きのにぶい鉢は過湿に注意して風通しをよくします。また、高温に弱い植物はできるだけ涼しい所で管理しましょう。



ヒボシルタ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈鉢花〉 灌水 アザレア、ツバキ、ポインセチア、ハイビスカス、ジャスミンなどはもちろん、ニューギニア・インパチェンスなども水切れしないようにたっぷりと与えます。   ハイビスカス クササンタンカ（ペンタス） 施肥 各種花木、草花とも液肥を主体として十分に与えます。ただし、アザレア、ツバキ、サザンカなどは蕾の形成期に入るので与えてはいけません。 植え替え シクラメンは球根の半分を土の上に出して植え替えます。その他、植え替えの遅れている鉢は早急に行います。   フクシア 球根ベゴニア

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈洋ラン〉 植え替え 花の終わったファレノプシスは植え替えます。 灌水・施肥 各種類とも、植え込み材料が乾きすぎないように十分与えます。ただし、デンドロビウム・ノビル系で中旬以降に止め葉の出た株、カトレアのシースが出た株は肥料を中止して水を控えます。 シンビジウムは7月の管理に準じます。 病虫害防除 各種病虫害の発生が多くなりやすいのでよく観察して防除に努めましょう。特に、入室を控えている戸外管理の鉢は入念に防除しておくことが大切です。 〈サボテン・多肉植物〉 灌水・施肥 成長期の株には十分に与えます。 ジャコバサボテンは水をごく控えて、新芽が発生したら摘み取ります。  ハナキリン



クレオデンドロン

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈鉢花〉 鉢替え ニューギニア・インパチェンス、カロライナジャスミン、マダガスカルジャスミン、ランタナ、サンタンカ、ハイドランジアなどの根詰まりしたものは鉢替えします。 施肥 種類により液肥を主体として与えます。ただし、ツバキ、サザンカ、アザレアなどには与えません。 病虫害防除 戸外に置いた鉢で入室が近いものには殺虫殺菌剤を散布することが大切です。また、ナメクジ、カタツムリなどにも注意しましょう。 入室 ポインセチア、ブーゲンビレア、ハイビスカスなど、寒さに弱い種類から順次室内に取り込みます。ただし、シクラメン、クンシラン、アザレア、ツバキ、サザンカなどは10月まで戸外に置いて管理しますが、霜には注意します。
	エラチオールベゴニア ストレリチア ストレプトカーパス

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈洋ラン〉 施肥 シンビジウムの開花予定株、デンドロビウム・ノビル系の止め集の出た株、カトレア類のシーズの出た株には与えず、鉢に残っている置肥はきれいに取り除きます。ただし、その他の種類には液肥を与えます。 入室 カトレア類は上・中旬に、シンビジウムは下旬から室内へ取り込みます。 発育が遅れたシンビジウムの株は一日の平均気温が15℃を下回ると生育がストップするので、暖かい日中は戸外へ出し、夜は入室します。 株分け・植え替え ミルトニア、マスデバリア、夏咲きカトレアなどが植え替えできます。
	〈サボテン・多肉植物〉 入室 アデニウムなどは早めに入室します。クラッスラ（金のなる木）、アロエ、クジャクサボテンなどは入室を急ぎません。 挿し木 セダム属、エケベリア属、ロケアなどを挿し木で増やします。 ゲッカビジン



作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈鉢花〉 入室 比較的寒さに強い種類のアザレア、ツバキ、サザンカなども下旬には入室させ、休眠打破のために当分はごく低温の所に置きます。また、ハゴロモジャスミン、カロライナジャスミンなども低温の所に置きます。クンシランは上旬に入室後、暖かい部屋に置いておくと開花しなかったり、花茎が伸びずに葉の間で咲いてしまうので、入室後は5～10℃の低温に約60日間あわせて、その後蕾が見えてきたら15～20℃くらいの所で管理します。   ブーゲンビレア フユサンゴ 短日処理 ポインセチアは短日植物であるため、室内で蛍光灯などの人工光線を受けると苞葉が赤く色づかないので、室温が20℃前後の所に置き夕方5時から翌朝8時ころまで段ボール箱を被せるなど暗くして夜の時間を長くします。色づいた苞葉が出てくるまで60日ほど毎日連続してこの短日処理を行います。処理中も施肥は続けます。   エスキナンサス ビラカンサ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈洋ラン〉 灌水 それぞれの鉢の植え込み材料が乾いたら水を与えます。ただし、デンドロビウム・ノビル系の止め葉の出た株、カトレア類のシースが出た株は控えめにします。 入室 初霜が降りる前にシンビジウム、デンドロビウム・ノビル系を室内に取り込み明るい窓辺に置きます。 デンドロビウム・ノビル系は入室後も日の当たる明るい所で7～8℃の低温に30日以上あわせて（蕾の見えるまで）花芽の形成を促します。 バルブが完成したシンビジウムの株からは花芽が出てきます。朝方の最低室温10℃、昼間の最高室温20℃の範囲内の所に置くとよいでしょう。大型種のシンビジウムで、この時期に出てきた葉芽はかき取らずに残しておきます。 〈サボテン・多肉植物〉 クジャクサボテンは入室したら下旬から灌水を控えて5～8℃で休眠させます。 短日処理 シャコバサボテン、カランコエなどの短日植物は、花芽形成のため短日処理をします。夕方5時から翌朝8時ころまで段ボール箱を被せるなど暗くして、夜の時間を長くします。 シャコバサボテンでは25～30日、カランコエでは40～50日ほどの間、毎日連続してこの短日処理を行います。 入室 クラッスラ、アロエ、クジャクサボテンなどを入室します。



クラッスラ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈鉢花〉 灌水・施肥 熱帯性などの高温を好む種類、ポインセチア、ハイビスカス、クレロデンドロン、ランタナなどは、朝方の室温が15℃を維持できるのであれば水と肥料は続けて与えます。最低室温が10℃以下になるような場合は、水をこく控えて、肥料は与えません。 シクラメン、プリムラ類、シネリリア（サイネリア）などは、朝方の最低室温10℃、日中の最高室温20℃の温度範囲の所に置いて、水と肥料は適量を与え続けます。 球根ペゴニアは低温、短日になると開花しないので、3月までは5℃以下で、かつ水が凍らない程度の低温で休眠させます。 アマリリス、グロキシニアなども、やや低温の所に置いて水を切って休眠させます。  シクラメン 〈洋ラン〉 灌水 10月同様、それぞれの鉢の植え込み材料が乾いたら水を与えます。ただし、デンドロビウム・ノビル系の止め葉の出た株、カトレア類のシースの出た株は控えめにします。 施肥 朝方の最低室温を18℃以上に保っている場合、成長中のファレノプシスには与えてよいでしょう。  パフィオペディルム  パンダ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈サボテン・多肉植物〉 灌水・施肥 一部の寒さに弱いものはよく日に当てて最低室温を保ちます。大半の種類は低温に耐えるので冬季間は10℃以下の所に置き、水をこく控え、肥料は与えません。  アロエ  シャコバサボテン

●冬の水やりに注意!!●

長く寒い冬、この時期に鉢内を過湿状態にすると根腐れや枯死につながるので、これまでもまして水やりに注意することが大切です。

暖地、熱帯の植物は回数を減らし乾かし気味にして耐寒性を高めます。

冬咲き、早春咲きの植物は鉢土が乾いたら午前中に、やや温めの水をたっぷり与えます。夕方を与えるとう水分が抜け切れず、夜になり暖房を切った部屋などでは冷えて根を腐らせたり枯死させてしまうこともあるので絶対に避けましょう。

また、鉢皿に水を残さないことは勿論のことです。



ポインセチア

作業時期 上旬 中旬 下旬	作業内容
	〈鉢花〉 灌水・施肥 一般に、窓辺などの明るい所に置くと冬の間も開花する種類が多くあります。シクラメン、プリムラ類、シネリアほか高温を嫌う種類については日中の最高室温を20℃程度に保ち、ガラス越しの光を当てて水と肥料を与えるようにします。 アザレアは開花前の葉水を欠かさないうようにします。アザレアは一つの花で7～10日ほど咲き続けていますが、水が切れると開花後4～5日で散ってしまうので、乾く室内では毎日1回の水やりが必要です。また、ポインセチアも水切れに弱いので室温に近い温度の水をたっぷり与え、湿度を高める工夫をします。 ハイビスカスほか熱帯性の種類は朝方の最低室温が低ければ日中の室温が高くても生育しないので、朝方の最低気温を適正に保つことが理想です。 最低室温がそれぞれの種類の生育最低温度（10～15℃位）を維持している場合、水は鉢土の表面が乾いたら十分に与え、肥料は月に2～3回カリ分の多いものを薄めにして与えます。生育最低温度を保てない場合、水は鉢土の表面が乾いてから3～5日後に与え、肥料は止めて耐寒性をもたせるようにします。
	 クリスマスホーリー
	 ポインセチアの花

作業時期 上旬 中旬 下旬	作業内容
	〈洋ラン〉 灌水・施肥 デンドロビウム・ノビル系は休眠期なのでやや低温の所に置いて水をごく控え、肥料は与えません。 シンビジウムの開花株や蕾の上がっている鉢は日中も20℃を越えないようにし、水は植え込み材料が乾いたら与えるようにします。 カトレア類のシースが出た株はやや低温に置き、植え込み材料が乾いたら水を与えます。カトレアの開花株には水を少し多めに与えます。 ファレノプシスは朝方の最低室温を18℃以上に保てるときは植え込み材料が乾いてから水を与えますが、薄めの液肥を水の代わりに与えてもよいでしょう。
	 オンシジウム
	   カトレア
	〈サボテン・多肉植物〉 短日処理中のシャコバサボテンは、蕾ができたやや低温の所で通常の水やりをします。花の終わった株は5～10℃程度の低温に置き、水をごく控えて休眠状態にします。
	 カラシコエ



プリムラ・ボリアンサ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈鉢花〉 シクラメン、アザレア、プリムラ類などは日当たりのよい窓辺に置きます。室温は日中の最高が20℃、朝方の最低が10℃前後が適当です。 灌水 鉢土が乾いたら十分に与えますが、鉢皿には水をためてはいけません。  アザレア  マンリョウ 施肥 シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など次々に花を咲かせる種類には与えます。 病虫害防除 うどんこ病、灰色かび病、カイガラムシ、ハダニ、アブラムシの発生に注意します。  プリムラ・ジュリアン  プリムラ・オブコニカ  プリムラ・マラコイデス

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	〈洋ラン〉 灌水 各種類の生育最低温度を保てるときは、植え込み材料の表面が乾いたら与えます。最低温度が保てないときは、表面が乾いてから数日後に与えます。 開花中のシンビジウム、カトレアなどは高温を避けて、灌水は鉢内が過湿にならないように控えめにします。 施肥 成長を続けている株には液肥を与えます。ただし、シースや蕾の出ている株、開花中のシンビジウム、カトレアなどには与えません。 花が満開になったシンビジウムは、花茎を根元から切り取って切り花で観賞しましょう。鉢は暖かい窓辺に置き、液肥を与えて新芽の成長を促します。  ファレノプシス   〈サボテン・多肉植物〉 12月同様、花の終わったシャコバサボテンの鉢は、3~4月の植え替えまで5~10℃程度の低温に置き、水はごく控えて休眠状態を保ちます。



シネラリア

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈鉢花〉 アザレア、ツバキ、エリカなどの花の終わった鉢は、春の植え替え時期まで5℃前後の低温に置いて新芽の成長を抑えます。 灌水 鉢土が乾いたら十分に与えますが、鉢皿には水をためてはいけません。 施肥 1月と同様、シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など次々に花を咲かせる種類には与えます。 鉢替え プリムラ類、シネラリア、カルセオリアなどは、鉢が込み合ってきたら根鉢を崩さずに一回り大きな鉢に替えると長く咲き続けます。 剪定 ゼラニウムは花後に適宜剪定します。
	エリカ ツバキ
	〈洋ラン〉 暖房している室内は温度が高く、空中湿度は極端に低くなりがちなので、鉢周辺の湿度が少しでも高まるように置き場所を工夫することなどが大切です。 シンビジウム

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	灌水 1月同様、各種類の生育最低温度を保てるときは、植え込み材料の表面が乾いたら与えます。最低温度が保てないときは、表面が乾いてから数日後に与えます。 開花中のシンビジウム、カトレアなどは高温を避けて、水は鉢内が過湿にならないように控えめにします。 施肥 1月同様、成長を続けている株には液肥を与えますが、シースや蕾の出ている株、開花中のシンビジウム、カトレアなどには与えません。 植え替え・鉢替え 花が満開になったシンビジウムは、できるだけ早く花茎を根元から切り取って切り花で観賞しましょう。その後、株は暖かい部屋の窓辺で新芽の成長を促しますが、この時に植え替えか、鉢替えを行います。植え替え、鉢替え後、1バルブに1芽、1鉢につき2～3本の芽を残すように芽欠きをします。鉢は戸外管理のときに内部の温度が高まるよう濃紺が黒色のプラスチック製の鉢を使います。植え込み材料は火山れきと洋ラン用パークの混合が一般的です。 デンドロビウム・ファレノプシス系 デンドロビウム・ノビル系 〈サボテン・多肉植物〉 1月同様、花の終わったシャコバサボテンの鉢は、3～4月の植え替えまで5～10℃程度の低温に置き、水はごく控えて休眠状態を保ちます。



カイドウ

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	〈鉢花〉 植え替え アザレア、クルメツツジ、エリカ、ツバキ、ハナウメなどの花木類は花後に不要な枝を整理し、植え替えます。 剪定 ゼラニウムは花後に適宜剪定します。剪定した枝は挿し木して増やすこともできます。  クンシラン  ハナモモ  フリージア 〈洋ラン〉 灌水・施肥 シンビジウム、カトレア、ファレノプシスほかで、新芽、新葉の伸びてきた株には十分に与えて成長を促します。 株分け シンビジウムはなるべく分けない方がよいのですが、バルブが10個以上ある大株になったものであれば植え替え時に行うことが可能です。

作業時期	作業内容
上旬 中旬 下旬	
	植え替え・鉢植え 2月同様、シンビジウムの花が満開になったらできるだけ早く花茎を切り取って切り花で楽しみ、株は暖かい部屋の窓辺で新芽の成長を促しますが、この時に植え替えか、鉢植えを行います。植え替え、鉢植え後、1バルブに1芽、1鉢につき2〜3本の芽を残すように芽欠きをします。鉢は戸外管理のときに内部の温度が高まるよう濃紺か黒色のプラスチック製を使います。植え込み材料は火山れきと洋ラン用パークの混合が一般的です。 ファレノプシスも花が満開になったら早めに花茎を切り取ります。このとき、室内の最低温度が18℃以上の場合、寄せ植えやプラスチック製の鉢植え、あるいは水苔の汚れた鉢などは、新しい鉢で1株ずつに植え替えます。 〈サボテン・多肉植物〉 クジャクサボテンの花芽が見え始めると花色が分かるくらいまで、10〜20℃で日光のよく当たる所に置いて水を与えます。 灌水 低温にして水を切っていた鉢は暖かい所へ移し、下旬から水を与えます。 植え替え 花の終わったサボテン類、シャコバサボテンほかの鉢を植え替えます。  イースターカクタス

緑の相談



カトレア

緑あふれる街づくりを……
花づくり庭づくりのお手伝いを……
四季を通じてアドバイスします

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
12月29日から翌年の1月3日まで

《緑の相談》

- 相談日・時間
休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）
☎(011)811-9370

みどりの図書

午前8時45分から午後5時15分まで



百合が原緑のセンター

北区篠路町太平210番地外

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
12月29日から翌年の1月3日まで

《緑の相談》

- 相談日・時間
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）
☎(011)772-3511

みどりの図書

午前8時45分から午後5時15分まで

＜温室観覧料＞

- 大人（高校生以上）……………130円
 - 小人（小・中学生）……………60円
 - 65歳以上・幼児……………無料
- ※敬老手帳などをご提示ください。



平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目45番地

- 開園期間
4月29日から11月3日まで
- 開園時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休園日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
11月4日から翌年の4月28日まで

《緑の相談》

- 相談日・時間
開園期間中の毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）
※庭木など実物見本に即した相談が受けられます。
☎(011)883-2891

みどりの図書

午前8時45分から午後5時15分まで



麻生緑の相談室

北区北39条西5丁目（麻生総合センター内）

《緑の相談》

- 相談日・時間
毎週火、水、金、土曜日（祝日に重なる場合は、木曜日が代替相談日です）
午前10時から午後4時まで
（正午から午後1時まで休み）
☎(011)757-1003

みどりの図書

午前10時00分から午後4時00分まで



札幌市グリーンデータバンク

不要となった庭木、草花（球根、宿根草）を登録してください。欲しい方にあっせんします。

＜申込方式＞

- 提供者は所定の申込書に記入してお申し込みください。（郵送でも可）
- 受け取り希望者は、提供リストが緑のセンターに掲示されますので、ご来館のうえお申し込みください。
- 受付期間：緑のセンター休館日以外
- 受付時間：午前9時～午後4時
- ＜申し込み・問い合わせ先＞
豊平公園緑のセンター
※対象樹木、草花類の提供は無償です。

札幌市都市緑化基金

緑あふれる街づくりのため 都市緑化基金の募金に ご協力をお願いします

都市の緑は、私たちの日常生活に四季おりおりの季節感や、心のゆとり、やすらぎとうるおいといったかけがえのない充足感を与えてくれるものです。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰につつまれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化がぜひとも必要になってまいります。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様からご寄附いただいたお金を積み立て、その果実（利子）で民有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れる緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様の暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業を実施しています



記念樹プレゼント

市民を対象に、結婚、出産、新築といった人生の節目を記念して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどのの中から希望の苗木をプレゼントしています。

応募は往復ハガキで。返信用ハガキが引き換えになります。

「広報さっぽろ」などでお知らせ。

ツタ苗の補助

目的／ツタで壁面などを緑化し、身近な緑を増やすため。

対象／市内の住宅、事業所など。

補助数／植え込み延長の30mまで、植え込み総本数の50%。

申し込み／春と秋の年2回。「広報さっぽろ」などでお知らせ。



ツタ緑化モデル施設の指定

ツタによる緑化推進の模範となるような市内の家庭、事業所などをモデル指定。



穀物寮／豊平区中の島1条9丁目



小西信興邸／中央区宮の森3条11丁目



中野診療所／東区北13条東16丁目



株式会社道野建設／中央区北3条東5丁目



ヴァンローゼ／中央区北3条西2丁目



札幌競馬場／中央区北20条西15丁目



八花亭製菓株式会社札幌内3／南区真駒内上町3丁目

フラワーポットの貸し出し

対象／市内の町内会、自治会、商店街などの団体。
 個数／1団体あたり30個以上100個まで。
 規格／700mm×240mm×200mm。
 期間／3年間。
 申し込み／春、年1回。

「広報さっぽろ」などでお知らせ。
 貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を
 1ポットあたり5株つけます。



その他の事業



コンテナツリーの設置



フラワースタンドの設置



緑化パネルの展示



花と緑に関する手引書の発行



緑の絵コンクール



緑と花のフォトコンテスト



緑化に関する催し物への協力



園芸講習会

都市緑化基金の募金にご協力を!!



この小冊子も基金の果実の一部で作成しています



●基金に関するお問い合わせは●

札幌市環境局緑化推進部自然保護課

〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館
 TEL 211-2532

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060-0051 札幌市中央区南1条東2丁目 南1条タカハタビル2F
 TEL 211-2579